

2013年10月4日

「動物病院の先生がやって来た」報告書

正 智子

招待講師 伊藤圭子（奄美動物病院 獣医師）

日時 2013年9月29日（日）

参加者 大人 11名 小人 25名

目的

奄美大島には、元々その地域に生息していた在来種、他地域からもちこまれた外来種、この地域にのみ生息する固有種等の様々な野生動物が生息しています。

本講座では、傷ついている野生動物を発見した時に、どのように保護し対応するのか、その対処法を学びます。また、動物の骨格標本や鳥の羽を実際に観察することで、動物や自然に対する興味を深めることも目的としています。

獣医師である伊藤先生の経験談を聞きながら、私たちに何ができるのかを考えていきます。

講座内容

- ・「野生動物を助けるには？」
（傷病動物に対する救護について。人為的な被害をなくすためにはどうするか等）
- ・「骨格標本・アマミノクロウサギの糞・鳥類のペリットの観察」
（動物の生態を知る）
- ・「現地観察会」
（アマミノクロウサギの糞及び周辺環境の観察）



現地観察会風景



講座風景①「野生動物の保護方法について」



講座風景②クロウサギの糞・鳥類のペリット拡大観察



講座風景③標本に触れる



講座風景④骨格標本に触れる



自然観察会①現地観察会風景



自然観察会②アマミノクロウサギの骨（調査中）



自然観察会③アマミノクロウサギの糞



骨格標本観察・講座アンケート

文化遺産活用実行委員会 第1回講座アンケート結果

- ① 今回の講座を知ったきっかけはなんでしたか
1.チラシ(83%) 2.友人(0%) 3.ラジオ(0%) 4.ブログ(17%) 5.その他(0%)
- ② 講座に参加しようと思った理由は？
- ・勉強になると思ったから
 - ・地元の自然について理解を深めたい
 - ・子供に興味を持ってほしかった
 - ・獣医師のお話が直接聞けるから
 - ・現地で観察できるから
 - ・標本に触れる
 - ・山の中に入りたかった
 - ・子供の付き添いで
 - ・説明をしてもらいながら山道を歩ける貴重な機会だから
- ③ 講座のないようについて
1.わかりやすかった(67%) 2.ふつう(33%) 3.むずかしかった(0%)
4.たのしかった(0%)
- ④ 講座の時間はいかがでしたか？
1.長い(0%) 2.ふつう(100%) 3.短い(0%)
- ⑤ 今回の講演会をきいて、役に立ちましたか？
1.とても役に立った(67%) 2.まあまあ役に立った(33%) 3.ふつう(0%)
4.役に立たない(0%)
- ⑥ 今回の巡検（自然観察会）の内容について
1.わかりやすかった(50%) 2.ふつう(0%) 3.むずかしかった(0%)
4.楽しかった(50%) 5.ためになった(0%)
- ⑦ 講演会および巡検の費用負担額についていかがでしたか？
1.高い(0%) 2.ふつう(100%) 3.高い(0%)
- ⑧ 次回、このような講演会があったら参加したいですか？
1.参加したい(100%) 2.参加したくない(0%)
- ⑨ あなたの年齢をおしえてください
20代(17%) 30代(33%) 40代(33%) 60代(17%)

⑩ どこから参加いただきましたか？ 町内(100%) 町外(0%)

⑪ ご意見・感想・新発見など

(大人)

- ・面白い企画を親子で楽しむことができました
- ・意外と身近な場所でクロウサギが生息していること、守られていることに気づかされました
- ・野生動物が住みよい環境にしてあげることが我々の努めだということも知ることができた
- ・自分たちでは山で見つけられないものを教えてもらったりとても楽しかった
- ・標本づくりをしてみたいです
- ・夜にもやってもらいたい
- ・ただの虫と思い見過ごしてきたのが、色々あるんだな感じました
- ・現地観察会で発見した羽など説明があつてとてもわかりやすかった

(子供)

- ・網野子峠の近くにいて、毛のようなものを見つけた。クロウサギのフンもみつけた
- ・いろいろな動物のことを知れてよかった
- ・クロウサギのうんちと口がおもしろかった
- ・口のなかに歯があるのがおもしろかった
- ・鳥の羽はさらさらして気持ち良かった
- ・羽は涼しかった
- ・骨ってすごいとおもった。また骨をみたい
- ・ハシバトの羽をみつけた。あおいだら涼しかった
- ・アオダイショウは、魚の骨みたいでした
- ・クロウサギのフンは、丸かった
- ・山の中を探検してとても楽しかった
- ・道のあちこちにクロウサギのフンがあり、反対側には通った道があった
- ・今度は、本物をみたい
- ・動物の骨を見たり触ったりするのは、初めてで勉強になった
- ・最初は、そう簡単にクロウサギのふんが見つかるのかなと思っていたが、意外とたくさん見つかり、反対側に通り道をみつけることができた
- ・こんなに身近に自然があることに気づけた
- ・これからも奄美の自然を大切にしていきたい
- ・アオサギの羽をあおぐと風がすごい。

2013年10月4日

「動物病院の先生がやって来た」現地調査 報告書

鼎 丈太郎

講師 伊藤圭子（奄美動物病院 獣医師）

日時 2013年9月28日（土）

参加者 伊藤圭子 鼎丈太郎

目的

瀬戸内町中央林道（網野子峠付近）で踏査を実施。アマミノクロウサギ等希少野生動物の生息状況や周辺環境を調査し、今後どのように保護し、活用していくか検討する。

結果

アマミノクロウサギの糞を広範囲で確認することができた。糞が多数確認できたことから複数個体生息することが確認できた。また、糞の大小から子供のアマミノクロウサギの生息も確認でき、繁殖している可能性も確認できた。糞の近くの草むらでは、アマミノクロウサギの通り道も確認することができた。

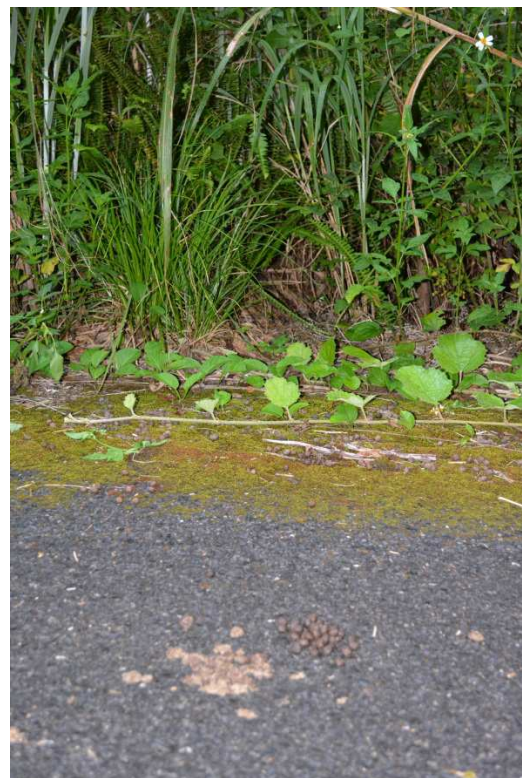
今後も啓発活動などを実施し、保護体制の強化が必要。生息域や環境が確認できたことから、自然環境を考える体験活動地としての活用は可能である。



糞の確認（講師）



生息環境調査（講師）



通り道調査

2013/10/4

「動物病院の先生がやって来た」現地調査（植物）報告書

正 智子

講師 前田芳之（芳華園 樹木医）
日時 2013年9月29日（日）
参加者 大人10名 子供19名 *観察会に合わせて調査を実施

目的

瀬戸内町中央林道（網野子峠付近）での踏査を実施。
周辺環境や希少野生動植物（特に植物及び昆虫）を調査する。

調査内容

- ・奄美の希少野生動植物の観察及び調査
- ・昆虫など生物の役割や相互の関係について等



調査風景



オオシマエンマコガネ（クロウサギの糞に寄生）



ホウキタケの仲間



ホウキタケの調査・確認風景

調査により確認された植物（一例）



ハシカンボク



アマチャズル



シマウリカエデ



ホウロクイチゴ（手前）



アマクサギ



サキシマフヨウ



ムベ（割れないアケビ）



リュウビнтаイ（中央）



シソ科（調査中）

